



10月の学校朝会「劣等感を武器にする」

令和6年度の後半がスタートしました。9月30日には、一人一人の子どもに担任の先生から通知表が手渡されました。ご家庭でも頑張ったことをしっかりと褒め、次なる目標を一緒にお話ししていただくとありがたいです。子どもは保護者の方々からの一言で、頑張る意欲を持てたり、自分の強みを自信にしたりできるものです。ぜひ、今週末でもゆっくりとそんな時間をとっていただきたいと思います。

10月3日(木)の学校朝会では、子どもたちに以下のような話をしました。少しだけ、秋の気配が出てきた体育館で子どもたちはいつものようにしっかりと聞いてくれました。

「劣等感」という言葉は聞いたことがありますか。劣等感とは、自分は他の人と比べてできないことがあるとか、ダメなところがあるかと思うことです。例えば、「自分はAさんに比べて勉強ができない」とか、「自分はBさんに比べてスポーツができない」とか思うことです。この劣等感は、実は誰でも持っています。劣等感を持っていない人はほとんどいません。

もしかしたらみんなの中にも、劣等感から悲しく思ってしまったたり、元気をなくしてしまったり、頑張ろうという気持ちさえなくなっている人もいるかもしれません。でも、実はこの劣等感があるからこそ、人は頑張ることができるのです。

テレビの広告をつくるクリエイターの仕事で活躍しておられる箭内道彦さんは、若い時から「相手の人に嫌われたくない」という思いが強く、自分の考えを言ったり、行動したりすることがなかなかできなかったそうです。自分自身を出せないという劣等感をずっと持っていたそうです。自分は他の人よりもダメだという気持ちを持って、みじめで情けなく思っていました。しかし、これがテレビのCMなどの広告をつくる時に、逆に役立つことになったのです。広告は、それを見た人に商品を気に入ってもらうことを目的につくられます。その商品を嫌われないようにすることが大切なのです。「自分はどうやったら嫌われないか」ばかりを考えて生きてきた箭内さんなので、広告をつくる時に、そのことが大いに役立つわけです。劣等感が、反対に大きな武器になったのです。

劣等感をなくそうと思って勉強したり、他の人に負けないように練習したり努力したりすることで色々なことがわかったり、上手にできるようになったりもします。また、自分が欠点だと思っていたことが、反対に役に立つことが、世の中には必ずあるものです。

他の人と比べてダメだなど思うことがあったら、それは自分が成長できるチャンスです。そのチャンスを生かして自分を成長させるといいですね。

地域の見守りに感謝！

9月21日～9月30日は、秋の全国交通安全運動の期間でした。若葉校区でも朝から地域の交通安全協会の方々が交通指導をしてくださっていました。また、毎月はじめには、民生委員の方々も交通指導をしてくださっています。子どもたちの中には、「いつもありがとうございます」と言いながら横断歩道を渡っている人もいました。そして下校時刻には、防犯協会の方々が見守りをしてくださっています。若葉校区は、地域の方々に見守られていることに、本当に感謝いたしております。

